



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3374 URL http://www.naigaitec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々木 政彦 TEL 03 (5433) 1123
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,672	0.1	300	51.6	290	59.9	231	55.4
28年3月期第2四半期	9,659	22.7	197	205.7	181	373.6	148	348.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 232百万円 (86.3%) 28年3月期第2四半期 124百万円 (135.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	95.00	—
28年3月期第2四半期	61.14	—

※平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,966	2,298	21.0
28年3月期	11,385	2,090	18.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,298百万円 28年3月期 2,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期（予想）の1株当たり期末配当は5円となり、1株当たり年間配当は5円となります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,584	0.3	631	2.7	601	2.9	403	△9.2	166.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	2,536,000株	28年3月期	2,536,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	104,602株	28年3月期	104,037株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	2,431,643株	28年3月期2Q	2,432,032株

※平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 株式併合後の配当及び業績予想について

当社は、平成28年6月23日開催の第55回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成29年3月期の配当予想
1株当たりの配当金 期末配当 5円00銭
- 平成29年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 83円02銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、依然として続く円高・株安傾向の中で輸出や個人消費が弱含みで推移するなど一部に停滞感もみられましたが、全体的には緩やかな回復基調が続きました。世界的にも、堅調な米国、欧州を中心に緩やかな経済成長が継続しましたが、中国や新興国の景気減速、英国のEU離脱問題等による先行き不透明感は依然として残りました。

当社グループの業績に大きな影響を与える半導体・半導体製造装置市場の状況は、これまで市場を牽引してきたスマートフォン等の多機能携帯端末の成長鈍化は見られましたが、台湾・韓国を中心としたロジック半導体や3D NAND型フラッシュメモリ等の先端技術への設備投資のほか、中国を中心とした増産投資が着実に進められ、半導体製造装置メーカーの受注は総じて堅調に推移しました。

また、FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置市場では、モバイル用途の中小型パネル向けの設備投資に加えて、中国を中心に大型液晶パネル向け設備投資が継続し、FPD製造装置メーカーの受注は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注はほぼ前年並みとなり、売上高は96億72百万円(前年同期比0.1%増)となりましたが、損益面では、受託製造事業での利益率が向上したことにより、営業利益3億円(前年同期比51.6%増)、経常利益2億90百万円(前年同期比59.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億31百万円(前年同期比55.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①販売事業

半導体・FPD製造装置などの各種コンポーネンツ(部品)及び同装置等の販売事業におきましては、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注はほぼ前年並みとなり、売上高は89億37百万円(前年同期比1.1%減)、セグメント利益1億47百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

②受託製造事業

半導体・FPD製造装置などの組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましては、保守メンテナンス事業及び主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注はほぼ前年並みとなり、売上高は12億28百万円(前年同期比4.5%減)となりましたが、利益率の高い組立事業の売上が増加したことにより、セグメント利益1億40百万円(前年同期比168.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億18百万円減少し、109億66百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が4億18百万円増加、受取手形及び売掛金が8億75百万円減少等、流動資産が4億73百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億26百万円減少し、86億68百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務が1億14百万円増加し、社債及び長期借入金(1年内を含む)の純減少額4億81百万円、支払手形及び買掛金が2億80百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億8百万円増加し、22億98百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2億31百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の18.4%から21.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通りであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,127,392	3,546,275
受取手形及び売掛金	5,059,096	4,183,619
電子記録債権	303,379	350,027
商品及び製品	602,547	551,169
仕掛品	54,774	53,724
原材料及び貯蔵品	50,780	34,923
繰延税金資産	43,400	42,749
その他	33,858	38,768
貸倒引当金	△2,687	△2,513
流動資産合計	9,272,542	8,798,743
固定資産		
有形固定資産		
土地	878,612	878,612
その他(純額)	310,083	332,533
有形固定資産合計	1,188,695	1,211,145
無形固定資産	13,549	60,442
投資その他の資産	911,051	896,591
固定資産合計	2,113,296	2,168,178
資産合計	11,385,839	10,966,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,453,102	2,172,143
電子記録債務	2,628,917	2,743,275
1年内返済予定の長期借入金	822,327	667,626
未払法人税等	97,593	64,558
賞与引当金	80,000	76,700
その他	491,930	427,375
流動負債合計	6,573,870	6,151,679
固定負債		
社債	450,000	350,000
長期借入金	1,559,140	1,392,765
繰延税金負債	20,868	25,535
退職給付に係る負債	580,650	582,273
長期未払金	84,950	84,950
資産除去債務	12,744	12,847
その他	13,074	68,301
固定負債合計	2,721,428	2,516,672
負債合計	9,295,299	8,668,352

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	1,323,238	1,529,928
自己株式	△28,665	△29,045
株主資本合計	2,006,578	2,212,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,246	80,138
為替換算調整勘定	11,715	5,542
その他の包括利益累計額合計	83,961	85,681
純資産合計	2,090,540	2,298,570
負債純資産合計	11,385,839	10,966,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,659,612	9,672,740
売上原価	8,666,381	8,568,724
売上総利益	993,230	1,104,016
販売費及び一般管理費	795,265	803,831
営業利益	197,964	300,185
営業外収益		
受取利息	2,653	2,501
受取配当金	2,427	3,001
受取賃貸料	6,590	4,796
仕入割引	4,394	4,249
助成金収入	544	—
その他	4,044	6,578
営業外収益合計	20,655	21,127
営業外費用		
支払利息	34,112	27,467
その他	2,675	3,178
営業外費用合計	36,787	30,646
経常利益	181,832	290,666
税金等調整前四半期純利益	181,832	290,666
法人税等	33,141	59,656
四半期純利益	148,690	231,010
親会社株主に帰属する四半期純利益	148,690	231,010

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	148,690	231,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,623	7,891
為替換算調整勘定	869	△6,172
その他の包括利益合計	△23,754	1,719
四半期包括利益	124,936	232,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,936	232,729
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,955,694	703,917	9,659,612	—	9,659,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	81,649	582,199	663,848	△663,848	—
計	9,037,343	1,286,117	10,323,461	△663,848	9,659,612
セグメント利益	130,985	52,202	183,187	14,776	197,964

(注) 1. セグメント利益の調整額14,776千円は、各セグメントが負担する営業費用と営業外収益の消去差異であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,915,271	757,469	9,672,740	—	9,672,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,911	470,884	492,796	△492,796	—
計	8,937,182	1,228,354	10,165,537	△492,796	9,672,740
セグメント利益	147,502	140,297	287,800	12,384	300,185

(注) 1. セグメント利益の調整額12,384千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。